1 主題名 自分の「よさ」について考え、気づかせる A(3) 向上心、個性の伸長

2 教材名 「優しさの光線」

出典 中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき (光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする指導内容

内容項目 A- (3) は、「将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分の「よさ」について考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる」ことをねらいとしている。

中学2年生となると、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかし、自分の生き方を考えた時、生徒は「将来の夢や目標がない」「得意な教科や得意なことがない」というような、マイナス面に目が向くことが多く、自信がないという思いをもっていることが多い。これは、学校生活等を通して他者との比較によって個性を認識することが多いということがあると考えられる。そこで、立場が変わったそれぞれの今の生活を振り返り、その生き方や生活を前向きに捉え、さらに充実させることの大切さを伝えたり考えさせたりしたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

アンケート調査

1	自分には良いところがあると思う。		
A	そう思う (4名)	B	どちらかと言えばそう思う (6名)
C	どちらかと言えばそう思わない (17名)	D	そう思わない (4名)
2	道徳の授業ではねらいに対してよく考えることができている。		
A	そう思う (8名)	B	どちらかと言えばそう思う (18名)
C	どちらかと言えばそう思わない (5名)	D	そう思わない (0名)

(5月20日実施 本学級生徒31名)

本学級の生徒たちは、課題について意欲的に考えることができ、グループでの話し合い活動もしっかり行うことができる。しかし、自分の考えを発表する場になると消極的になってしまう生徒が多い。事前のアンケートでは、「自分には良いところがある」と答えた生徒が31名中10名と、自分の良さを実感できたり、自信をもったりできる生徒が少ないことが分かった。そこで今回は、「自分が主体であることに気づく」「自分の個性と多様な価値観に触れる」ことで自己肯定感の向上ができるよう、グループで話し合う場面を設け、お互いに良さを伝え合う活動をすることで、自分自身の「よさ」に気づき、個性を伸ばし、充実した生き方や学校生活をしようとする心情を育てていきたい。

(3) 教材について

本教材では、本学級の生徒たちと同じように将来について思い悩む主人公の姿に、自我関与して考えられる教材となっている。主人公が先生の言葉で自分の個性に気づいたのと同じように、本学級の生徒たちもこの教材から自分の個性を見つめ、将来を考えていくことができる態度を育てていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

自分自身の自分の良さに気づき、考えさせることで、向上心を持ち、個性を伸ばそうとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

道徳資料「新しい道徳」・ポートフォリオ・掲示物・ホワイトボード

(3) 本時の展開 (○ 補助発問 ◎ 中心発問)

主な活動と発問	予想される生徒の反応	生徒への援助・支援 評価
<p>1 自分の「よさ」について考える。</p> <p>○ 自分に「良い」ところはありませんか？</p> <p>○ 自分の「良い」ところは何がありますか？</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の良いところを発見しよう。</div> <p>3 教師の音読を聞く。</p> <p>○ 主人公の気持ちの変化を考えながら読みましょう。</p> <p>4 教材について話し合う。</p> <p>(1) 主人公の気持ちを考える。</p> <p>○ 小さな声で答えた主人公をどう思いますか？</p> <p>◎ 「久しぶりに空を見上げた」主人公はどんなことを思ったでしょう。</p> <p>5 話し合い活動をする。</p> <p>○ グループ内でお互いに各メンバーの「よさ」を書いて伝えよう。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>○ 今日の授業を通して、自分の「よさ」について気づいたことや考えたことを書こう。</p>	<p>・ある。</p> <p>・(考えたことも)無い。</p> <p>・まとめられる。</p> <p>・真面目。</p> <p>・明るい。</p> <p>・気持ちが分かる。</p> <p>・自身が無い。</p> <p>・応援したい。</p> <p>・弱い。</p> <p>・少し自信を取り戻すことができた。</p> <p>・自分にもいいところがあったと気づき、うれしかった。</p> <p>・自分の長所を伸ばしていく。</p> <p>・自分自身を改めて見直す機会になった。</p>	<p>・発言する生徒一人一人の言葉に耳を傾ける。</p> <p>・見通しをもって活動できるように、本時のねらいについて確認をする。</p> <p>・生徒の集中力を持続させるために、教師が範読する。</p> <p>・ワークシートやポートフォリオに記入するよう促す。</p> <p>・自分の似たような体験や経験を当てはめて考えてみるようにアドバイスする。</p> <p>・考えがまとまらない生徒に対しては、主人公の立場に立って考えられるよう声掛けをする。</p> <p>・グループ内で友達のよいところを普段の生活から見出し、改めて伝える場であることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【評価】</p> <p>自分自身の自分の良さに気づき、考えることができています。</p> <p>(発言、ポートフォリオ)</p> </div>